

「家庭学習スタンダード」の活用実践例

学習への意欲を高め、学校と家庭の連携を図りながら、児童のR-PDCAの確立を目指した家庭学習の取組

郡山市立大槻中学校・大槻小学校

学習には真面目に取り組む児童が多い。しかし、家庭学習への取組には少なからず個人差が見られ、学校の果たすべき役割が大きい。そのため、学校が中核となって家庭・地域と連携を図り、自己マネジメント力の育成を目指した家庭学習を目指して取り組んでいる。

取組のねらい

〈家庭学習における大槻中学区の課題〉

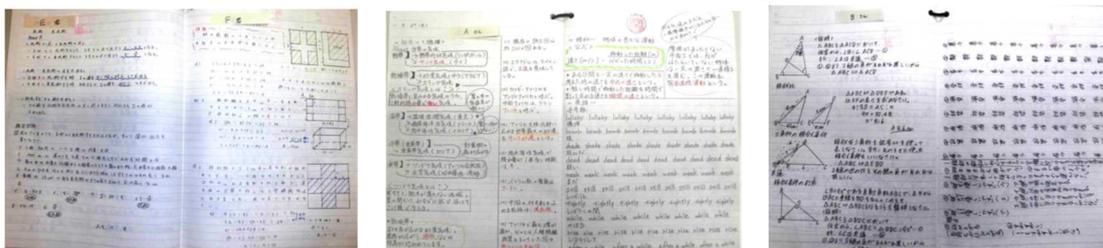
- 家庭学習の習慣化が図られていない児童生徒が多く、固定化されてきている。
- 学年・学級において、家庭学習の量と質に差があり、共通理解が図られていない。
- 分からない問題をそのままにして、教科書や本、インターネットなどを活用して調べようとする根気強さ・探求心がない。
- 休日、スポーツ少年団の練習や試合、家庭の用事に多くの時間を費やし、学習時間が確保されていない。
- 「自主学習は、何をやったらいいかわからない」という児童生徒も見られる。

これらの課題から、「家庭学習スタンダード」を仲立ちとして、「自己マネジメント力」の育成を目指して実践してきた。「自己マネジメント力」を、「子どもが自分の学習と生活の実態を自覚して、目標を設定したり、進捗状況を記録したりして、自己の学習を改善していく力」、「R-PDCAサイクルを通して、自己の学習や生活の在り方を自律的に改善する力」ととらえた。そして、家庭学習を子どもに任せているだけでは育たない、発達段階に応じた指導方法に留意することが大切であることから、下記の内容を実践することとした。

取組の内容

大槻中

- 「学習の手引き」を作成し、家庭学習の方法を指導
- 家庭学習の意欲を高めることを目指し、学級「自主学習ノート」の実施



大槻小

- ① 「家庭学習の手引き」の見直し
- ② 「自主学習ノートのススメ」の作成
- ③ 「家庭での学習・生活チェックシート」の作成と実践
- ④ 「家庭学習パワーアップ週間」の位置づけ
- ⑤ 「学びの通信 『あくしゅ』」の発行
- ⑥ 「生活カード（学習カード）」での共通理解
- ⑦ 「家庭学習コーナー」「自主学習コーナー」の設置
- ⑧ 特設学習部での学習支援

自主学習のやり方		3・4年
1	自主学習の時間	15分
2	自主学習の場所	20分
3	自主学習の道具	2年 30分
4	自主学習の目標	3年 40分
5	自主学習の記録	4年 50分
6	自主学習の振り返り	5年 60分
7	自主学習の発表	6年 70分
8	自主学習の表彰	

ここでは、本校が特に力を注いだ③「家庭での学習・生活チェックシート」の作成と実践④「家庭学習パワーアップ週間」の位置づけについて紹介する。

「家庭での学習・生活チェックシート」の作成と実践

「家庭での学習・生活チェックシート」を用い、学級活動の時間などを活用して、自分の学習や生活の在り方を自己診断させた。評価には「1学習習慣」「2生活習慣」「3学習時間」「4学習内容」「5学習方法」の5つの観点から、自分を多面的・客観的に捉えられる項目を設定した。そして、担任の適切な指導・支援により、自己の改善点や課題に気づかせるようにした。

5つの項目について、レーダーチャートで可視化することにより、1回目と2回目の変容を分かりやすくした。さらに、学級のレーダーチャートも作成し、苦手なこと、誘惑に負けそうなことにも、みんなで頑張ろうという実践力を高められるようにした。なお、「家庭での学習・生活チェックシート」は、福島県教育委員会のもの、5項目25設問を、5項目15設問に精選して、自校化したもので実施した。

家庭での学習・生活チェックシート



学級活動の時間を活用

レーダーチャートで自己診断

一緒に頑張ろうとする連帯感



「家庭学習パワーアップ週間」の位置づけ

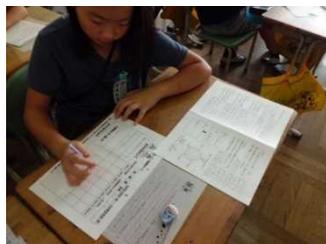
1回目と2回目の「家庭での学習・生活チェックシート」での自己診断の間に、R-PDCAサイクルを意識した「家庭学習パワーアップ週間」を位置づけた。このパワーアップ週間は、子どもの実態を考慮し、意欲が持続できるように1週間と限定した。また、前述の課題としてあげたように、学習時間が十分に確保されていない休日を含むように設定した。この「家庭学習パワーアップ週間」は、「家庭での学習・生活チェックシート」による1回目と2回目の自己診断の間に、2回実施することによって、反省点が生かせるように配慮した。

「家庭学習パワーアップ週間」の振り返りでは、「家族にも応援してもらった」「目標を決めると、だらだらせずできた」「バランスよく学習することは、将来の夢に向けても大切なことだと分かった」など書かれており、今までの家庭での学習や生活を振り返るいい機会となった。

また、保護者からのコメントを記入する欄も設定した。「目標をもってできるなんて素晴らしい」「自主学習も習慣化されて、内容も工夫されていてよかった」「分からないところは、辞書や参考書を使って調べながら集中して学習していた」など、子どもの頑張りをみとめる言葉が寄せられていた。

家の人の励ましにより、子どもたちが『パワーアップ週間』が終わっても、続けて頑張ろう」という意識付けを図ることができた。

課題解決に向けて
目標設定



家庭学習パワーアップ
週間カード



職員室前に掲示



実践して見えてきたこと

大観中

- 「学習の手引き」を作成したことで、授業に臨む心構えやノートのとり方、家庭学習の仕方などが各教科ごとに明記され、生徒が学習しやすい環境を整えることができた。
- 学級「自主学習ノート」は、1冊のノートを複数で共有して活用することにより、家庭学習への意欲を高めるとともに、友達の取組のよさにも触れることができ有効であった。
- 家庭学習が定着していない生徒がまだ見られる。授業と家庭学習をつなぐ指導を継続的に行っていくことで、定着化を図ってきたい。

大観小

- 「家庭学習スタンダード」の活用一年目として、R-PDCAサイクルの確立を目指した取組を実践できたことが、大きな成果として挙げられる。

R (自分を知る)・・・家庭での学習・生活チェックシートで自己分析	①
P (計画する)・・・学級活動での話し合いにより、目標設定	②
D (自ら学習する)・・・家庭学習パワーアップ週間の位置づけ	③
C (確かめる)・・・家庭学習パワーアップ週間後の自己分析	④
A (見直す)・・・見直し、新たな目標の設定	⑤

- 「家庭での学習・生活チェックシート」を本校の子どもの実態に合わせて、県版25設問を15設問に精選したことにより、自分の課題が分かりやすくなった。また、5領域をレーダーチャート化し、可視化することで家庭での学習・生活の在り方が自己分析しやすかったと思われる。(①⑤)
- 家庭学習パワーアップ週間を、1週間と短く設定することにより、「頑張れそうだ」という意欲をもたせることができた。また、短期間内に2回実施したことが、1回目の反省を生かし、修正していく上で有効であった。(③)
- レーダーチャートの結果をもとに、課題解決に向けて目標を設定する際、「学級活動」の時間を活用した。話し合いから、友達のよさを学んだり、悩みを相談し合ったりすることで、一緒に頑張ろうといった連帯感を持ち、一人一人の実践力を高めることができた。(②)
- 「家庭学習パワーアップ週間カード」には、保護者からのコメント欄を設けた。「熱心に勉強している姿が大好きです。」といった結果だけではなく、取り組んでいる過程の頑張りを認めるコメントが、次への興味や関心、意欲を引き出す動機付けへとつながった。なお、コメント記入については、学びの通信「あくしゅ」で依頼してきた。(③)
- 「自主学習」においては、「家庭学習の手引き」の中で「考える力が身に付く」ことを示したことにより、自主学習の取り組み方にも積極的になってきた。「自主学習」はその性質上や子どもの発達段階から、第3学年以上から進めてきたが、低学年でも自主的に取り組む子どもが増えた。ある学級では、1年生にも関わらず、クラスの半分以上が取り組み、冊数が増えたり、保護者や学校から称賛されたりと、満足感、達成感を得ていた。



1年間の取組が実感できるように



友だちの取組を参考に内容の充実を

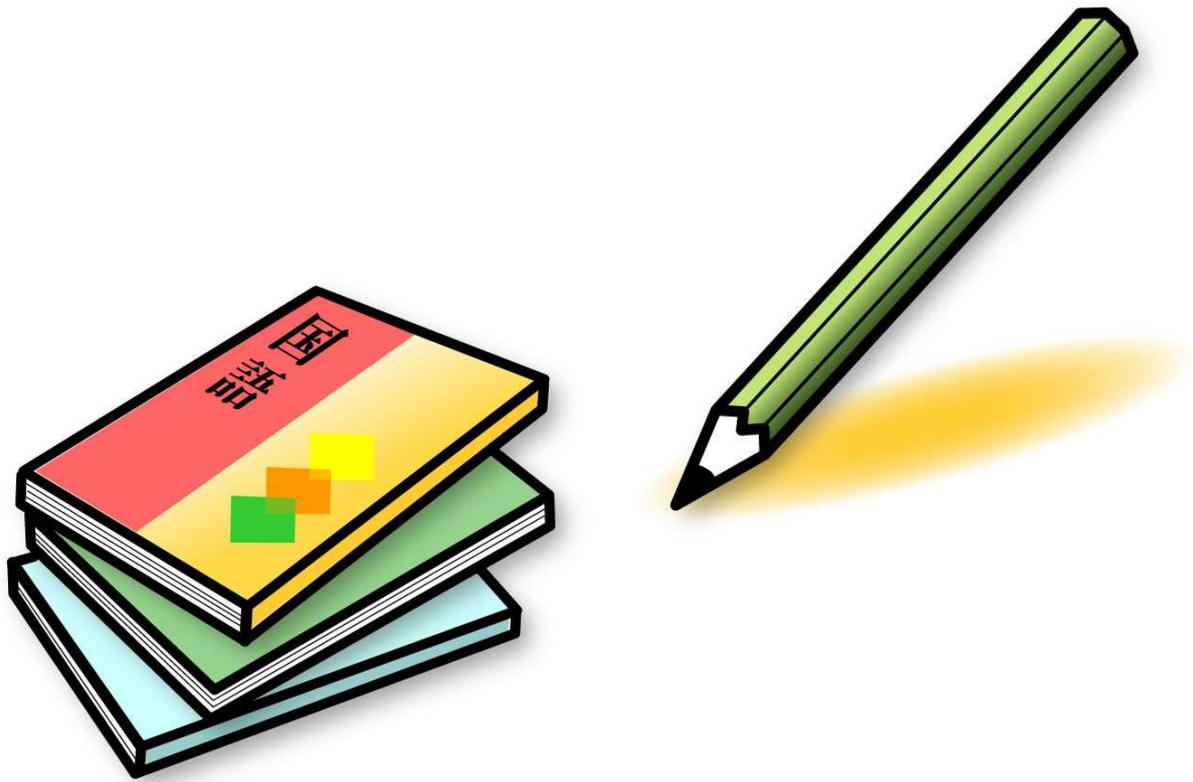


「家庭学習コーナー」より

- 会議室前に、「家庭学習コーナー」を設置し、「自主学習名人」として、子どもの自主学習ノートのコピーを掲示し紹介したことにより、友達の取組を参考に内容の充実を図ることができた。会議室は特設学習部の活動場所でもあったため、所属している子どもの手本にもなって効果的であった。また、学びの通信「あくしゅ」にも掲載したことで、教育相談の際には立ち寄って見ていただき、家庭学習の大切さを伝えるよい機会となった。
- 第5学年では、自主学習を廊下に展示し、4月からの冊数を綴るなど、1年間の頑張りが実感できるようにしていた。第6学年では、少人数のグループでノート1冊を共有して取り組むことで、友達のよさを参考にしながら、自分の学びへとつなげることができた。第4学年では、「学級新聞」という形で、自主学習の取組を紹介していた。このように、学年や学級の実態に応じて、子どものやる気を引き出すために有効な取組であった。
- 「家庭学習スタンダード」を活用した取組は、1年目であることから、短期間での成果ばかりを求めず、長期的に子どもの学びを支援していくことが重要であると考えている。今後も、教育相談や授業参観後の懇談会、学校ホームページなどでも家庭への啓発を図ることが不可欠である。また、回覧板や地域の行事などでも、家庭学習の大切さ、本校の取組を紹介し、地域との協力体制を整えていきたい。
- 自主学習の内容については、「楽なものをやろう」「すぐに終わるものにしよう」といった考えで取り組んでいる子どもも少なからずいる。まず、自主学習を習慣化させた後に、内容の充実が図られるよう、根気強い指導を続けたい。

平成30年度

学習の手引き



郡山市立大槻中学校

国語の学習

国語学習の進め方に悩んだ時、きっと役に立つはずです。国語科ファイルにとじておき、いつでも使用できる（見ることができる）ようにしておきましょう！

1 はじめに

国語の授業をすすめるため、みなさんの学習のしかたについてわかりやすく順序だてて説明したものです。また、家庭学習をする場合も同じです。上手に活用し、学習の効果をあげてください。

2 学習のしかた

(1) 授業前（予習）

①教科書の本文を読む。

- ・次の授業で何を学習するのかを自分自身で明確にするためにも、教科書をよく読んでおくことは大切です。教材の内容があらかじめわかっている場合と、そうでない場合とでは、授業中の集中力に大きな差が出ます。また、授業で「先生が何について話しているのかわからない」ということもなくなります。
- ・読む場合は原則として、黙読（黙って読む、目で読む）よりも音読（声に出して読む）の方が内容をよく把握することができます。「読書百遍、意自ずから通ず」（ドクショヒヤツパン、イノゾカラツクス）です。（意味のわからない文章でも、何回も読んでいるうちに自然と意味がわかってくる、ということです。）

②文字調べをする

- ・読めない文字（漢字）をノートに書き出し、読み方や意味を調べます。
- ・調べる際は、教科書中の各単元（教材）の最後に掲載されている新出漢字や辞典（国語・漢和）を活用しましょう。調べてもよくわからない場合は、先生や友達に質問しましょう。（まずは自分で考え、調べましょう。）自分で学ぼうとする態度を身につけることが大切です。

③語句を調べる

- ・読んでみて意味がよくわからない語句はノートに書き出し、国語辞典などで意味を調べましょう。
- ・調べてもよくわからない場合は、先生や友達に質問しましょう。

④《さらに一步》

【説明的文章の場合】

- ・箇条書きで要点を抜きだしましょう。

【文学的文章の場合】

- ・登場人物や情景について押さえておきましょう。
- ・場面の展開にそって、人物の心情の変化などをつかんでおきましょう。

(2) 授業中

①「学習課題」を把握し、どのような学習を通して、理解を深めていくのか考えましょう。

②課題を解決するために、自分の意見をはっきりと述べましょう。（自分の心の中で思っているだけでは本当の力とはなりません。）また、他の人の意見にもしっかりと耳を傾け、さらに自分の考えを深めましょう。

- ③ノートをまとめる時は、板書事項をそのまま書き写すのではなく、自分の意見や友達の意見なども書き加えるようにしましょう。(世界で一冊の自分だけのノートを作るように工夫しましょう。)
- ④今日の学習を振り返り、課題についての理解の深まり方や取り組み方について反省しましょう。
- ⑤次時までの予習課題や次時の学習内容を確認しましょう。

(3) 授業後(復習)

- ①その日のうちに教科書本文やノート、ワークなどを読み返しましょう。
 - ・自分の考えと友達の考えを比べたり、学習のまとめを振り返ってみましょう。
 - ・その日の学習内容に関連した問題を解いてみましょう。(ワーク、問題集)
 - ・自分で購入した問題集を解くことも効果はありますが、基本はあくまでも教科書とノートであることを頭に入れておきましょう。(解答のテクニックだけを身につけても、土台となるべき国語が身についたことにはなりません。)また、いろいろな問題集を1回ずつやるよりは、1冊の問題集をくり返し解く方が効果が大きいのと思われます。
- ②その日の授業に出てきた漢字を練習しましょう。
 - ・自分なりの方法を決めて、継続的に練習をしましょう。
- ③《さらに一步》次時の学習内容について予習をしましょう。
 - ・学習計画表などを振り返り、次時の学習内容をつかんでおきましょう。

3 ジャンル別学習法

(1) 文学的文章

- ①本文を読んであら筋をつかみ、初発の感想(第一次感想)をまとめ、中心に読み取っていききたいことはどんなことなのかについて考える。
- ②新出漢字や難しい語句の意味を調べる。(辞書)
- ③文章の構成をとらえ、場面ごとの情景や人物の心情をつかむ。
- ④主題について考え、まとめの感想(第二次感想)をまとめる。
- ⑤【発展】作者(筆者)について調べたり、同じ作者の他の作品を読む。

(2) 説明的文章

- ①本文を読んで、文章の流れをおおまかにつかむ。
- ②新出漢字や難しい語句の意味を調べる。(辞書)
- ③形式段落ごとの要点をつかむ。
- ④形式段落を内容ごとのまとまりに分ける。(意味段落)
- ⑤文章構成(意味段落相互の関係)について考え、論旨の展開の特徴をつかむ。
- ⑥要旨をまとめる。(意味段落ごとの中心段落の要点をつなげる)
- ⑦筆者の考えや意見に対する自分の考えをまとめる。
- ⑧【発展】文章を読んで関心を持った事柄についてさらに調べる。

(3) 韻文(詩・短歌・俳句)

- ①くり返し何度も声に出して読み、リズムをつかむ。
- ②表現技巧や文体形式を確認する。
- ③テーマについて考え、鑑賞文をまとめる。
- ④味わい深く朗読する。
- ⑤【発展】・作者(筆者)について調べたり、同じ作者の他の作品を読む。
 - ・詩、短歌、俳句を作る。

(4) 古 典

- ①原文を何度も声に出して読み、リズムをつかむ。(暗唱にチャレンジ！)
- ②難しい語句(古語)について調べたり、歴史的仮名遣いを確認したりする。
- ③口語訳をしながら、昔の人のものの見方や考え方を味わう。
- ④出典について調べたり、文学的価値などについて理解を深める。
- ⑤【発展】教科書に出ている作品の、他の部分を読み味わう。

(5) 漢 字

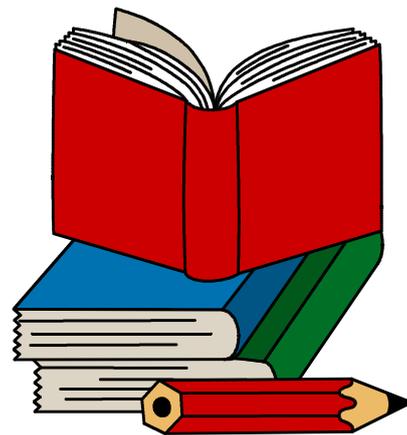
- ①新出漢字は「新出漢字音訓表」を作成し、確実に覚えるための努力をする。
- ②専用ノートやノートの下欄などに常に漢字の練習をしておく。

(6) 文 法

- ①授業の前には必ず前の文法の学習を振り返り、復習を行っておく。(特に文法用語など)
- ②新しく学習した文法用語をよく理解する。
- ③練習問題に数多くあたり、問題の傾向をつかんだり、自分のウィークポイントの補強に努める。
- ④学習内容について、随時復習を行う。

* 注
用ど訓音
例ちはは
はらひカ
教からタ
科ががカ
書ななナ
にいでで
載場書書
っ合くく
ては。。
い斜
ま線
す。
。/
を引く。
。

...	3	2	1	
...	僚	込	華	漢字
...	リ ヨ ウ	/	カ	音
...		こ め る	は な	訓
...	官 僚	見 込 み	栄 華	用 例
...	栄 え る こ と	意 味



数学の学習

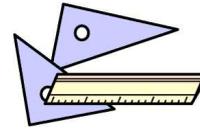
1. 授業について

(1) 準備物

教科書
ノート
ワーク
ファイル
その他



普段は
「4点セット」



図形の授業の時は「作図セット」(コンパス・三角定規)

(2) 授業の受け方

- ①ノートをきちんと書く。(日付、課題、ページ、問題番号、まとめ)
- ②ノート作りを工夫する。
(色ペン書きなど。定規をきちんと使う。その他補足等も書く。)
- ③よく聞いて、よく考え、そして自分で問題を解く。
- ④発表や話し合いに積極的に取り組み、考え方や解き方の違いなどを理解する。
- ⑤わからないときには、質問する。

(3) 各学期の評価 → 以下のことを総合して決めます

授業態度……発表、話し合いなど授業に取り組む態度
準備物……教科書・ノート・ワーク・ファイル・作図セットなど
宿題……プリント、テストの間違い直し、教科書やワークの問題など
提出物……ノート、ワーク、ファイル
単元テスト…各単元1枚～2枚
定期テスト…定期テストⅠ、定期テストⅡ、定期テストⅢ、定期テストⅣ



*単元テスト等の間違い直しについて

間違い直し用のプリントを見て、途中の式や解き方をきちんと書いて直すこと!

(4) ファイルの使い方について

数学で配られたプリント類(テストも)をすべてとじること

2. 家庭学習について

- (1) 授業中に解いた問題をその日のうちに家庭学習用ノートに書き出し、もう一度解いてみましょう。
- (2) テスト前は、ワークの問題を少なくとも2回解いてみましょう。
- (3) 正解しなかった問題には印をつけておき、繰り返しチャレンジしてみましょう。テスト前は、この印のついている問題を中心に復習しましょう。
- (4) 問題を解くときには、途中の計算や解き方も必ず記入し、丸つけまで行いましょう。
- (5) テストで間違った問題をノートに書き出し、解き直そう。
- (6) 3年生は、休日を中心に高校入試対策として、ワークのB問題や過去の問題に取り組ましましょう。

音楽の学習

1. 準備物

- 教科書 2冊（音楽 1・器楽）
- 音楽学習帳
- コーラスフェスティバル
- ファイル
- リコーダー
- 筆記用具

6点セット
布製の袋に入れる

※2・3年生は、
教科書3冊（上・下
・器楽）と資料集が
プラスになり、8点
セットになります。

（クラスのロッカーに入れておき、長期休業時には持ち帰ります。）

2. 音楽の授業を受けるときの注意点

- ① 教室移動について
5分前には移動し、授業が始まる前に着席ができるようにする。
- ② 忘れ物をしないようにする。
忘れたら、授業の前に担当の先生に報告すること。
忘れ物は、評価に関係します。
- ③ 真剣に授業に取り組む。
苦手なことも一生懸命に取り組むことが重要です。
- ④ 服装は、ジャージです。
腹式呼吸の練習などをするとき、体操したりするため。

3. 評価について

- ① 原則的に学期（前期・後期）に1度ずつ次のような実技テストがあります。
・歌 ・器楽（リコーダーなど）
- ② ペーパーテストもあります。授業の中で豆テストを行います
- ③ 音楽学習帳提出があります。

<評価の観点>

1	関心・意欲・態度	忘れ物をせず授業に真剣に取り組んでいる。音楽に興味・関心を持ち、活動に積極的に取り組んでいる。一生懸命取り組もうとする態度で授業に臨んでいる。
2	音楽的感受・表現の工夫	音楽の表現の豊かさを感じ取れる。演奏するとき強弱記号などに注意しながら表現できる。作曲できる。
3	表現の技能	音符が読めて、音程・リズムを正しくとって演奏できる。歌を歌うときの基本的な発声ができている。楽器の基本的な演奏法ができている。
4	鑑賞の能力	音楽を真剣に聴き、作曲者の意図や曲の特徴をつかんで、自分なりに批評文を書いたり感じたことを文章や絵で表現したりすることができる。

「癒やしの音楽」「元気になる音楽」「儀式の音楽」etc...「音楽」でその場の雰囲気ガラッと変わることがあります。また、演奏会などでは、聴いている人と演奏する人でその場の雰囲気をつくります。聴いている人は、一生懸命に演奏する姿を見たり毎日練習して磨きあげた演奏を聴いたりして感動する。演奏している人も自分たちが毎日良い音楽を追究し努力して最高の演奏ができたときに拍手をもらい、感動する。ステージと客席とが一体となって演奏会の雰囲気ができあがります。そういった演奏会の雰囲気を味わいたくてコンサートに足を運ぶ人も少なくありません。『校内合唱コンクール』は、その体験をする絶好の機会です。

「音楽」を学び、豊かな情操を養い、感動ある人生、潤いある人生を送りましょう。



家庭学習を大切にしていきます！

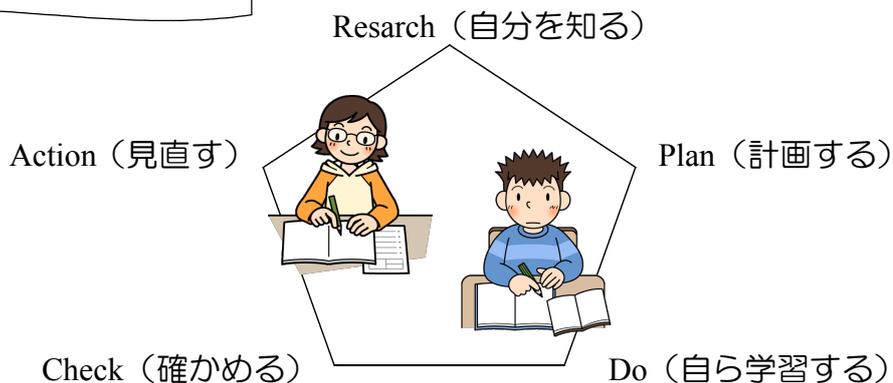
37日間の夏休みは、お子さんの様子はいかがでしたか。計画通りに学習が進められましたか。規則正しい生活が送れましたか。

先日、テレビ番組で、「今でしょ。」で有名な林先生が、こんなことをおっしゃっていました。「夏休みは、自分の好きな学習が思いっきりできて、よかった。」と……。さすが、林先生！ですね。しかし、その考え方は、子どもたちの家庭学習と同じではないかと思えます。家庭学習では、授業の中で興味をもったこと、疑問に感じたことなどを、さらによくわしく調べることができます。また、苦手な問題や難しい問題にがんばって取り組むこともできます。

家庭学習においては、授業を進めてくれる教師と一緒に勉強してくれる友達はいません。また、ゲームやスマホなどが自由に使える環境にもあり、家庭学習の質と量は、子ども達の意思に大きく左右されることとなります。

そこで必要になるのが、自己マネジメント力（R-PCDAサイクルを通して、自分で学習や生活を改善する力）です。

R-PCDAサイクル



本校では、自分の家庭生活をよりよくするために、家庭での学習や生活の様子を振り返る「家庭での学習・生活チェックシート」による調査を実施します。

- 実施期間 9月10日(月)～9月13日(木)
- 実施学年 第3学年以上の児童
- 実施内容 裏面をご参照ください。

家庭での学習・生活チェックシート

年 組 番 名前

このシートは、自分の家庭学習をよりよくするために、家庭での学習や生活の様子を振り返るものです。それぞれの項目の4～1の数字の当てはまるところに、1つずつ○をつけましょう。学校の成績とは関係ありませんから、ありのままを教えてください。

(4 : とてもあてはまる 3 : 少しあてはまる 2 : あまりあてはまらない 1 : まったくあてはまらない)

1回目のチェックは、青で印をつけましょう。2回目は赤で印をつけましょう。

Aは合計が12～10点 Bは合計が9～5点 Cは合計が4～3点です。

(1) 学習習慣

自分から進んで家庭学習をしています。	4 - 3 - 2 - 1
家では、学習する場所を決めています。	4 - 3 - 2 - 1
(10分×学年+10分)をめやすに学習しています。	4 - 3 - 2 - 1

青	点	A	B
		C	

赤	点	A	B
		C	

(2) 生活習慣

毎日、早寝早起きをして睡眠をしっかりとっています。	4 - 3 - 2 - 1
一日にテレビを見る時間やゲームやメールをする時間を決めています。	4 - 3 - 2 - 1
毎日、ほぼ同じ時刻に朝ご飯、晩ご飯を食べています。	4 - 3 - 2 - 1

青	点	A	B
		C	

赤	点	A	B
		C	

(3) 学習時間

決まった時刻に学習を始めています。	4 - 3 - 2 - 1
学校が休みの日の学習時間をおおよそ決めています。	4 - 3 - 2 - 1
音楽をきいたりテレビを見たりせずに、集中して学習しています。	4 - 3 - 2 - 1

青	点	A	B
		C	

赤	点	A	B
		C	

(4) 学習内容

いくつかの教科をバランスよく学習しています。	4 - 3 - 2 - 1
難しい問題や課題、苦手な教科にも、がんばって取り組んでいます。	4 - 3 - 2 - 1
進んで読書をしています。(1ヶ月3冊以上)	4 - 3 - 2 - 1

青	点	A	B
		C	

赤	点	A	B
		C	

(5) 学習方法

家庭学習のめあてを立てて積極的に取り組んでいます。	4 - 3 - 2 - 1
分からないところは、家に人や先生や友達に聞いたり、辞書や教科書やパソコンで調べたりします。	4 - 3 - 2 - 1
自分の家庭学習の仕方を振り返って、くふうしています。	4 - 3 - 2 - 1

青	点	A	B
		C	

赤	点	A	B
		C	

<青>

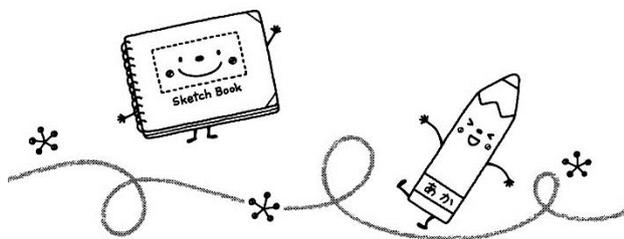
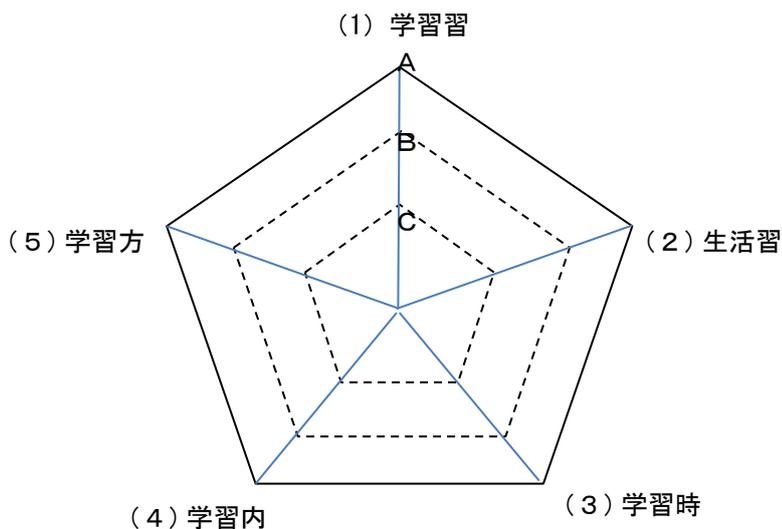
気づいたこと
次の目標



<赤>

気づいたこと
次の目標

<家庭での学習・生活の変化>





家庭学習パワーアップ週間 スタート!

赤く染まったナナカマドや黄色に輝くカエデなどが山肌を彩り始め、秋の深まりを感じられるようになりました。学校では、間近に迫った槻木発表会に向けて、どの学年も熱心に準備をしています。また、休み時間には、校内持久走大会を目標に、元気いっぱい校庭を走る子ども達の姿が見られます。

さて、明日から1週間、下記の通り、家庭学習のパワーアップを図っていきます。ご家庭のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

記

1 目的

子ども自身に家庭学習の大切さを働きかけることによって、習慣づくり・環境づくりを図り、子どもの家庭学習力を身につけさせる。

2 実施期間

平成30年10月18日(木)～10月24日(水)

3 実施学年

第3学年以上

裏面の「記入の仕方」
でご確認ください。



4 実施方法

家庭で子ども自身が自己評価をする。

～お願い～

「おうちの人から」の欄に、お子さんへの励ましの言葉をお願いします。

頑張りを認められることが、心の支えになり、次へのやる気につながります。

家庭学習パワーアップ週間カード《記入例》

10月18日(木)～10月24日(水)



6年 1組 35番 名前 大槻 太郎

◎とてもよくできた

○まあまあよくできた

△もう少し

自分の目ひょう	18日(木)	19日(金)	20日(土)	21日(日)	22日(月)	23日(火)	24日(水)
毎日30分以上、読書をする。	◎				○	○	◎
苦手な理科を 自主学習で取り組む		◎	◎	◎	◎	◎	◎
ゲームは一日1時間までにする。							△
1週間をふり返って	友達や学級のみんなで話し合って協力して取り組んだので、1週間がんばることができました。ゲームは、むちゃうになって1時間をこえてしまうこともありました。次のパワーアップのときには、全部◎になるようにがんばります。自主学習は、苦手な理科のふく習ができたので、よかったです。						
おうちの人から	お子さんのがんばりをほめ、次へのやる気につながる励ましの言葉をお願いします。						

学級レーダーチャートや自分の「家庭での学習・生活チェックシート」をもとに、授業の中で、個人の目標を2～3つ立ててあります。

◎とてもよくできた
○まあまあよくできた
△もう少し
毎日反省を記入します。

24日にパワーアップ週間の取り組みをふり返ります。
○がんばったこと
○これからの家庭学習に生かしたいこと

毎日、わすれずにチェックしましょう！10月26日(金)までに、たんじんの先生に出しおこす。



家庭学習パワーアップ週間 ご協力ありがとうございました！

初雪の知らせが届き、冬が間近に迫ってきていることを感じます。今週の16日（水）から、教育相談が始まりました。いつもより早い下校となり、家庭で過ごす時間が多くなっていますね。お子さんは、家庭学習を計画的に、自主的に進めていますか。

さて、「家庭学習パワーアップ週間」にご協力いただきまして、ありがとうございました。1週間取り組んだ子ども達の振り返りや、保護者の方のコメントをご紹介します。

～おうちの人から「コメント」より～

- ☆ 毎日、帰宅後、勉強に取り組んでいる姿が見られています。時間の使い方を工夫して引き続き、がんばってくださいね。
- ☆ 「字をきれいに書く」は、努力していたと思います。夜は、時間になったら布団に入り、朝もきちんと起きていました。
- ☆ 集中して家庭学習に取り組み、早寝早起きを心がけた毎日を過ごしていたので、今後も意識して生活してほしいです。
- ☆ 家のことを手伝いながら、勉強もしっかりできています。目標をもって勉強できるなんて、素晴らしいです。さすが◇◇ちゃんだ！！
- ☆ 自主学習も習慣化されて、内容も工夫して取り組んでいたと思います。その調子でがんばってね。
- ☆ 辞書や参考書を使って、分からないところは自分で調べて学習していました。宿題、自主学習ともに集中して行っていたように感じます。
- ☆ 学習時間も定着し、よくがんばりました。月の観察も、よくまとめています。ノートも分かりやすくまとめています。このまま、がんばりましょう。
- ☆ ◇◇君の勉強に熱心に取り組む姿勢、大好きです。

～子ども達の振り返りから～

〈3年生〉

☆ 一生けん命やったので、あっという間に30～40分で終わらせることができたので、うれしかったです。

☆ 苦手な問題はけっこうできていました。勉強時間は、特にちゃんとやっていました。

〈4年生〉

☆ △が一つついてしまったけど、◎、○が多いのでよかったです。このカードが終わっても、この目標はできるだけ毎日続けたいと思いました。そして、このカードがなくてもできるよう「習慣づけ」したいです。

☆ 私は、1週間「パワーアップ週間」をしてよかったですと思います。

〈5年生〉

☆ 今までは、このようなこと（自分の目標）ができませんでした。だけど、この1週間は、自分ではないように思えるくらいできました。ほとんどの日がしっかりできていました。「家庭学習パワーアップ週間」が終わっても、このようにしてがんばりたいです。

☆ このように、目標を決めてやると、「やらなくちゃ」という気持ちがあめばえて、宿題も早く終わるために心がけて、だらだらやっていた準備も急いでやって、今まで15分くらいかかっていたので、8分になりました。でも、字がどうしてもきたなく書いてしまうことが多いので、改善していきたいと思います。

☆ 毎日、60分間以上、きちんとできました。1日1回の読書も毎日できたので、この調子で続けたいです。

〈6年生〉

☆ 自分の目標は、全体的にととてもよくできました。これからも、家庭学習をやるときは、目標をもって取り組んでいきます。それに、6年生なので、70分以上は毎日勉強をして、特に分からなかったところを中心にやっていきたいです。

☆ 目標に向かってがんばれました。父にも応援してもらい、自主学習がノートにびっちり書けるようになりました。それがうれしくて、自学が楽しみになりました。これからも、がんばります。

☆ 最初はゲームの時間が三角だったので、これからは、こんなふうにすれば目標を達成できるんだなどと考えて、◎○にできました。だから、目標を立てるのは大切なんだなあと分かりました。

☆ 自分の生活習慣や学習をふり返って、見直すいい機会となりました。

☆ 自主学習で、複数の教科をバランスよくやることは、将来の夢に向けても大切なことだから、これからも続けたい。これからも、いろいろな目標を立てて、たくさん達成していきたいと思った。

2学期中に、第2回目の「家庭学習パワーアップ週間」を実施する予定です。

